

News 1 「ディスカバー農山漁村の宝」選定地区決定

日本の各地には、豊かな自然、食産物などを活用し、地域の活性化に取り組んでいる地区があります。こうした埋もれている地域資源の力を引き出し、農山漁村の活性化などにつなげた優良な事例を選定するのが、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」。このほど、五回目となる今年度の選定地区が決まりました。

今年度は1015件の応募があり、宮城県大崎市の「大崎の米『ささ結』ブランドコンソーシアム」など32地区を優良事例として選定。これらの活動は、「ディスカバー農山漁村の宝」特設Webサイトなどで紹介しています。また、意見交換や情報発信を行うシンポジウム、選定地区で生産した農林水産物や加工品が集まるマルシェなどのイベントも毎年開催。今後も元氣なムラの取り組みから目が離せません。

第5回選定地区はこちら

No.	都道府県	市町村	地区名
1	北海道	帯広市	株式会社いただきますカンパニー
2	北海道	ほくりゅうちょう 北竜町	くろせんごく 黒千石事業協同組合
3	北海道	おうむちょう 雄武町	農業生産法人株式会社神門
4	岩手県	遠野市	遠野・三陸ブランド海外輸出協議会
5	宮城県	仙台市	農事組合法人仙台イーストカントリー
6	宮城県	大崎市	大崎の米「ささ結」ブランドコンソーシアム
7	秋田県	大館市	大館市まるごと体験推進協議会
8	福島県	いなわしろまち 猪苗代町	ゆいのむら 農事組合法人結乃村農楽団
9	栃木県	足利市	有限会社ココ・ファーム・ワイナリー
10	栃木県	もてぎまち 茂木町	株式会社もてぎブラザ
11	埼玉県	秩父市	一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社
12	山梨県	いちかわ みさちろう 市川三郷町	くわのさと 株式会社桑郷
13	富山県	なんと 南砺市	南砺市商工会利賀村支部
14	石川県	はくい 羽咋市	合同会社のとしし団
15	福井県	小浜市	あの 小浜市阿納体験民宿組合
16	愛知県	豊田市	一般社団法人おいでん・さんそん
17	愛知県	しんしろ 新城市	つくでスマイル推進協議会
18	三重県	おわせ 尾鷲市	株式会社梶賀コーポレーション
19	京都府	与謝野町	与謝地域山村活性化協議会
20	兵庫県	丹波市	有限会社こやま園
21	奈良県	川上村	一般社団法人吉野かわかみ社中
22	島根県	おおだ 大田市	いちにちりょう おおだ一日漁推進協同組合
23	岡山県	みまさか 美作市	じびえ 地美恵の郷みまさか（美作市獣肉処理施設）
24	山口県	すおうおおしまちよう 周防大島町	株式会社瀬戸内ジャムズガーデン
25	徳島県	阿南市	加茂谷元気なまちづくり会
26	愛媛県	せいよ 西予市	ゆすかわ 企業組合遊子川ザ・リコピンズ
27	高知県	北川村	北川村ゆず輸出促進協議会
28	福岡県	太宰府市	福岡県立福岡農業高等学校食品科学科梅研究班
29	大分県	豊後大野市	株式会社成美
30	大分県	くにさき 国東市	ウーマンメイク株式会社
31	宮崎県	串間市	株式会社くしまアオイファーム
32	沖縄県	なんじよう 南城市	ちゅ 株式会社美らイチゴ

Pick up!

選定された宮城県大崎市「大崎の米『ささ結』ブランドコンソーシアム」

大崎市はササニシキ発祥の地。ササニシキ系の復権で震災復興につなげようと、新ブランド米「ささ結」を開発しました。平成29年度には5キロで約2,500円と高価格帯で販売される品種に成長。酒蔵とも連携し「純米大吟醸酒ささ結」を開発、販売しています。また、稲作体験イベントを通じて環境配慮型農業のPRも行っています。



仙台都市圏の家族向けに行った「ささ結」の稲刈り体験



米粒の形をした2つの円は、「自然」と「知恵」の循環をイメージ



選定地区が参加するマルシェも開催

特設Webサイトはこちら



Instagramはこちら



MAFF TOPICS

「MAFF TOPICS」では、農林水産省からの最新ニュースなどを中心に、暮らしに役立つさまざまな情報をお届けいたします。取材・文／丸山 こずえ

あふラボ「木のお酒」誕生に向けて

国立研究開発法人森林研究・整備機構の森林総合研究所が、世界で初めて、木を原料に飲用を目的とするアルコールを作る技術を開発しました。今後、安全性が確認されれば、お酒の歴史で初めて、「木のお酒」ができるかもしれません。

今回、開発したのは、すでに開発していた湿式ミリング処理という木材を細かくする技術を応用し、熱処理や薬剤処理をすることなく、木材に食品用の酵素と酵母を加えてアルコール発酵させる技術。

試験的にスギ材とシラカンバ材を原料にアルコールを作ったところ、スギ材のものからはスギ特有の香りを、シラカンバ材のものからは、ウイスキーを樽熟成させたときのような甘く芳醇な香りを感じることができました。現段階ではまだ飲むことのできる「お酒」ではなく、詳しく成分分析を行い安全性の確認を慎重に進めています。

木の種類によって香りが違うので、1200種類とも言われる国内の樹木から多彩な香りを持つアルコールを製造できそうです。各地で有名な木を使い、地域オリジナルのお酒を作ることもできるかもしれません。

木からアルコールができるまで



杉

白樺

桜

あふトリビア

「酒」の漢字の部首は？

部首は酉（さんずい）に見えますが、実は酉（ひよみのとり）です。酉は酒を入れる容器から生まれた象形文字とされ、水よりもこちらの方が漢字としての意味合いが強く、部首になったとか。酌や酔など、酒に関連する他の漢字にも酉が使われています。

木の種類ごとに独特の香りがあります

読者の声

読者の皆さまから寄せられた「aff(あふ)」10月号へのご意見・ご感想を紹介します。

生産者の方の栽培風景や日本最大級のりんご市場の写真に目を奪われました。おいしいりんごが食卓に届くまでにさまざまな工夫があることを学び、これからは感謝の気持ちを忘れずにいただきたいと思います。(50代・女性)

特集のテーマが、季節ごとにおいしく食べている日常的な食材だったので、興味を持って読みました。生産者さんならではの食べ方や扱い方をエピソードも交えて読めると嬉しいです。(30代・女性)

りんごと柿の特集を読み、りんごをお酒などに加工する工夫や知恵を使ってスマートに農業経営を考えるとこれからの農業のあり方なのだと思います。ぜひ近郊の成功している農業経営を見学し理解を深めたいです。(60代以上・男性)

最近、「ジビエ」という言葉をよく耳にし、気になってはいましたが、どこで食べられるのかが分かりませんでした。ポータルサイトでおいしそうなお店を探して、ジビエ料理を味わってみたいと思います。(40代・女性)

ウド鈴木さんのおもいで弁当にしそ巻きが入ってる！私も子どものころからよく食べた味です。しそがカリカリで甘じょっぱくて、ご飯が何杯でもいけちゃいます。ウドさんのご実家をテレビで紹介していた時、ニンジンやしらすをたらこであえた「こあえ」も食卓に並んでいました。あれも私の祖母の味です。(50代・女性)

感想をお聞かせください

今後もよりよい広報誌とするため、読者アンケートにご協力ください。農林水産省 Web サイト「aff(あふ)」のページから回答できます。



○編集・発行 農林水産省大臣官房広報評価課広報室
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL.03-3502-8111(代表) FAX.03-3502-8766

○編集協力 株式会社文化工房
〒106-0032 港区六本木5-10-31 矢口ビル4F
TEL.03-5770-7114(代表) FAX.03-5770-7132
編集/中村麻由美 小尾悠梨子 糸瀬早紀
藤田紫系 小竹結女 伊藤高 小野沢啓子 三邊晶子
アートディレクション/釜内由紀江
デザイン/石川幸彦 清水桂

News 3 海外旅行ではお土産選びにご注意を

年末年始に海外旅行を計画している方も多いのではないのでしょうか。今年はアジアで初めて中国でアフリカ豚コレラが発生するなど、多くの国で家畜の病気が発生しています。そのため、空港や港では動物検疫を強化し、病気の侵入を水際で食い止めています。現在、ほとんどの国からの肉製品は日本に持ち込むことができません。皆様のご協力をお願いします。

また、動物検疫で活躍している検疫探知犬がモデルを務めるカレンダーが完成しました。動物検疫所の Web サイトから無料でダウンロードできますので、ご活用ください。



各地の空港で協力を呼びかけ

2019年検疫探知犬カレンダー完成！



検疫情報についてはこちら



カレンダーについてはこちら



クイズの答え

杉玉(酒林)

新酒ができたころに新しいものをつるし、それを知らせる役割を果たしています。時間が経つと緑から茶へ色が変化していくので、酒の熟成の進み具合も分かるのが特徴です。

お酒の神様がまつられている大神神社では、ご神体である三輪山の杉の葉を使った大杉玉がつるされていて、11月の「醸造安全祈願祭」の前日に取り替えられます。



News 2 「GAP」を分かりやすく、身近に

農業の GAP ってなに？

よい 農業の やり方
GAP=Good Agricultural Practice

「適正な農業のやり方で生産しよう！」
という取り組みのこと

持続可能な社会の実現へ貢献



例えばこんなことも GAP です

食卓に安全を届ける

異物混入を防ぐ、農業を正しく利用するなどの取り組みを行います



環境に優しい農業を行う

農業や肥料は適切に使い、さまざまな生き物との共生を目指し、環境保全に配慮した農業を行います



農業者の笑顔を守る

安全に農作業を行うために危険な作業を把握し、服装や機械の使い方など、ルールを作って実践します



動物にも優しい環境を整える

飼育環境に配慮した農場で、良質な飼料や水の給与を行い、適切に管理します



寒いときには服を着るよ

Good な農業！
GAP-info はこちら



これから始める
GAP はこちら



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、GAP認証を取得した農畜産物が選手に提供されることとなっているのはご存じでしょうか。
「GAP」というのは「Good Agricultural Practice」の頭文字を取った言葉で、日本語では、「よい農業のやり方」や「農業生産工程管理」といわれます。
農畜産物の生産には、異物の混入や農機具での事故など、さまざまなリスクが潜んでいます。リスクを自ら見つけ、現場の整理整頓、生産履歴の記録などによって作業手順や機材などの管理を適正に行

い、農畜産物の安全や環境の保全、働く人の安全を確保する。そうして、消費者にGOOD!、地球にGOOD!、生産者にGOOD!となる、持続可能な農業経営を行うための取り組みがGAPです。
民間の第三者機関の審査によりGAPが正しく実施されていることが確認された農場はGAP認証を受けることができます。
農林水産省では、農業者向けにオンライン研修「これから始めるGAP」、消費者向けに情報発信サイト「Goodな農業! GAP-info」を開設しています。
この機会にぜひ、チェックしてみてください。

第三者機関による GAP 認証



GLOBALG.A.P.

規格を運営する非営利団体による、世界で最も普及しているGAP認証



ASIAGAP

財団法人日本GAP協会による日本発のGAP認証
本年10月、日本の規格で初の国際承認を取得



JGAP

財団法人日本GAP協会による日本発のGAP認証

広がる GAP 認証の取り組み



国内の小売店でも、取り扱いが増えている

写真提供/ザ・ガーデン自由ヶ丘 池袋店